

ひとりごと

最近、ひとりごとが増えたと思う。もともと、考え事をするときに、ぶつぶつ呟いてしまうタイプだが、最近は、メールを見ながら、「あ～そういうこと～」とか反応してしまう。しまいには、メール上でも、「余談ですが」なんてつけて、勝手に話している。

教育委員会制度の担当となり、1年8か月。気が付けば、H31年に入省して以来、最も長く担当していることになる。この席では、各地の教育委員会の状況を広く知ること重要な職務だ。この教育委員会月報も（編集担当は毎月、本当に苦勞してくれている）、そのツールの1つだし、情報を集めていかなければ、現場から離れてしまうという危機感がある。そのため、これまで、たくさんの教育委員会にお世話になった。職務として、全国の教育委員会の様子を学べる位置にいることは、役得だ。

そのうえ、この席は、テレビが見やすい。12時から13時すぎまで、NHKニュースをチェックする。お昼のNHKは、ニュースのあと、15分単位で番組が続き、私がお弁当を食べるころにはちょうど朝ドラの再放送が始まる。この朝ドラを欠かさず見ることがいつの間にか私の習慣になってしまった。

初めて朝ドラを見たのは、2021年後期。毎日、一喜一憂する私に、隣の係の研修生の先生や前の席に座る方々は、なにかしら相手にしてくれた。人事異動の時期とかぶり、まだ近くの席の方と打ち解けたとは言えない時期に、圧倒的に人生の先輩である方々と、1つでも共通の話題があったことが嬉しかった。

思えば、職場じゃなくても、ひとりごとに反応を求めてしまっている。週末、私は、友人と長電話しながら、ともに、1週間分の家事をこなす。掃除、洗濯、お弁当作り、買い物しながらだって通話を続ける。時に作業音で何を話しているか聞き取れないこともあるが、気にしない。明らかにうわの空な相槌でも問題ない。ほぼひとりごとだ。それでも、目の前で起きたちょっとしたことを言葉にしたい、共有したいと思うと、自然と感情が動くから、無言でやるより数百倍楽しくて、心地良い。

そう、私のひとりごとは、あわよくば反応がほしいという意思表示なのだ。やらなきゃいけないこともあるし、相手の時間を奪うのは申し訳ないけれど、もし、受け入れてくれるなら、共有したい。お話したい。この席では、そんな思いが湧き出てくる。なんだ。ひとりごとが増えたのは、いいことだ。共有したいことがそれだけあるんだから。

さて、お気づきいただけましたか。私は、この寄稿が「ひとりごと」にならず、久しぶりにおしゃべりできるきっかけになればと思ってます。つまり、お世話になった全国の先生方、教育委員会の皆様、私が誰かわかったら、ぜひ連絡くださいね。

(A.T)

「教育委員会月報 令和5年4月号 No.882」

- ・発行・著作 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課
- ・〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
- ・TEL:03-5253-4111 (代表)
- ・URL: <https://www.mext.go.jp>



文部科学省